

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語A	
科目基礎情報							
科目番号	3E008			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子メディア工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	浅見道明他 (2023) 『Power On English Communication III』 数研出版. TEX加藤 (2017) 『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ (TOEIC TEST 特急シリーズ) 』 朝日新聞出版.						
担当教員	小林 文子,小菅 智也						
到達目標							
1. 教科書/単語帳で学習する語彙・表現を理解し運用することができる。 2. 教科書で学習する文法の知識を運用できる。 3. 英検2級レベルの英文を読み、内容が理解できる。 4. 日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて理解することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1	教科書/単語帳で学習した語彙・表現が8割以上理解できる。		教科書/単語帳で学習した語彙・表現が6割程度理解できる。		教科書/単語帳で学習した語彙・表現が理解できない。		
評価項目 2	教科書で学習した文法を理解し、適切に運用することが出来る。		教科書で学習した文法をある程度理解している。		教科書で学習した文法を理解できない。		
評価項目 3	英検2級レベルの英文を読み、内容がよく理解できる。		英検2級レベルの英文を読み、内容がある程度理解できる。		英検2級レベルの英文の内容が理解できない。		
評価項目 4	日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて内容をよく理解することができる。		日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて内容をある程度理解することができる。		日常生活レベルの英語をナチュラルスピードで聞いて内容を理解することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	教科書の英文読解や演習問題、リスニング演習を通じ、総合的な英語力の向上を目標とする。 具体的には、英検2級レベルの英語運用能力を持ち、日常会話レベルの英語のやり取りができる程度の能力の習得を目指す。						
授業の進め方・方法	教科書の英文読解を演習形式で行い、その都度重要な文法事項等についての解説を行う。 各ユニットの新出語彙・表現、重要文法事項等については適宜小テストを実施し、定着を図る。 単語帳を用い、毎週単語テストを実施し、語彙力の強化を図る。 加えて、教科書や配布プリントを用い、シャドーイング演習やリスニング演習も実施する予定である。						
注意点	英文読解は予習を前提として進めていく他、小テストの回数が多いので、普段の授業での学習に加え、計画的に自主学習を進めること。 紙辞書／電子辞書を毎回の授業に必ず持参すること（スマートフォン不可）。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス		授業概要を理解できる。		
		2週	Lesson 1 Library of the Future		現在分詞の分詞構文の使い方が理解できる。		
		3週	Lesson 1 Library of the Future		関係副詞where の使い方が理解できる。		
		4週	Lesson 2 History Maker Otani Shohei		現在完了進行形の使い方が理解できる。		
		5週	Lesson 2 History Maker Otani Shohei		be + to + 不定詞の使い方が理解できる。		
		6週	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals		比較表現の使い方が理解できる。		
		7週	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals		使役動詞の使い方が理解できる。 原形不定詞の使い方が理解できる。		
		8週	前期中間試験		上記項目について学習した内容の理解度を確認する。		
	2ndQ	9週	前期中間試験の返却と解説		試験において理解が不十分であった点を確認・理解できる。		
		10週	Lesson 4 Natural Photographer in Alaska		関係代名詞の継続用法の使い方が理解できる。 関係代名詞what の使い方が理解できる。		
		11週	Lesson 4 Natural Photographer in Alaska		分詞構文の使い方が理解できる。		
		12週	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and They Think		第5分解の使い方が理解できる。		
		13週	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and They Think		過去完了進行形の使い方が理解できる。		
		14週	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and They Think		受動態の使い方が理解できる。		
		15週	前期定期試験		上記項目について、学習した内容の理解度を確認する。		
		16週	前期定期試験の返却と解説		試験において理解が不十分であった点を確認・理解できる。		
後期	3rdQ	1週	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?		比較級を用いた表現の使い方が理解できる。		
		2週	Lesson 6 Where Does Halloween Come from?		追加を表すディスコースマーカーの使い方が理解できる。		

		3週	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World?	形式目的語の使い方が理解できる。
		4週	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World?	客観的事実と筆者の意見を区別できるようになる。
		5週	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	so that の使い方が理解できる。
		6週	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	禁止を表す表現の使い方が理解できる。
		7週	Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad	時間順序を示すディスコースマーカーの使い方が理解できる。
		8週	後期中間試験	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。
	4thQ	9週	後期中間試験の返却と解説	試験において理解が不十分であった点を確認・理解できる。
		10週	Lesson 9 English, Always Growing	soを用いた倒置
		11週	Lesson 9 English, Always Growing	列挙を示すディスコースマーカーの使い方が理解できる。
		12週	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	仮定法過去の使い方が理解できる。
		13週	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	to不定詞と動名詞の使い分けができる。
		14週	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	追加を示すディスコースマーカーの使い方が理解できる。
		15週	後期定期試験	上記項目について、学習した内容の理解度を確認する。
		16週	後期定期試験の返却と解説	試験において理解が不十分であった点を確認・理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0